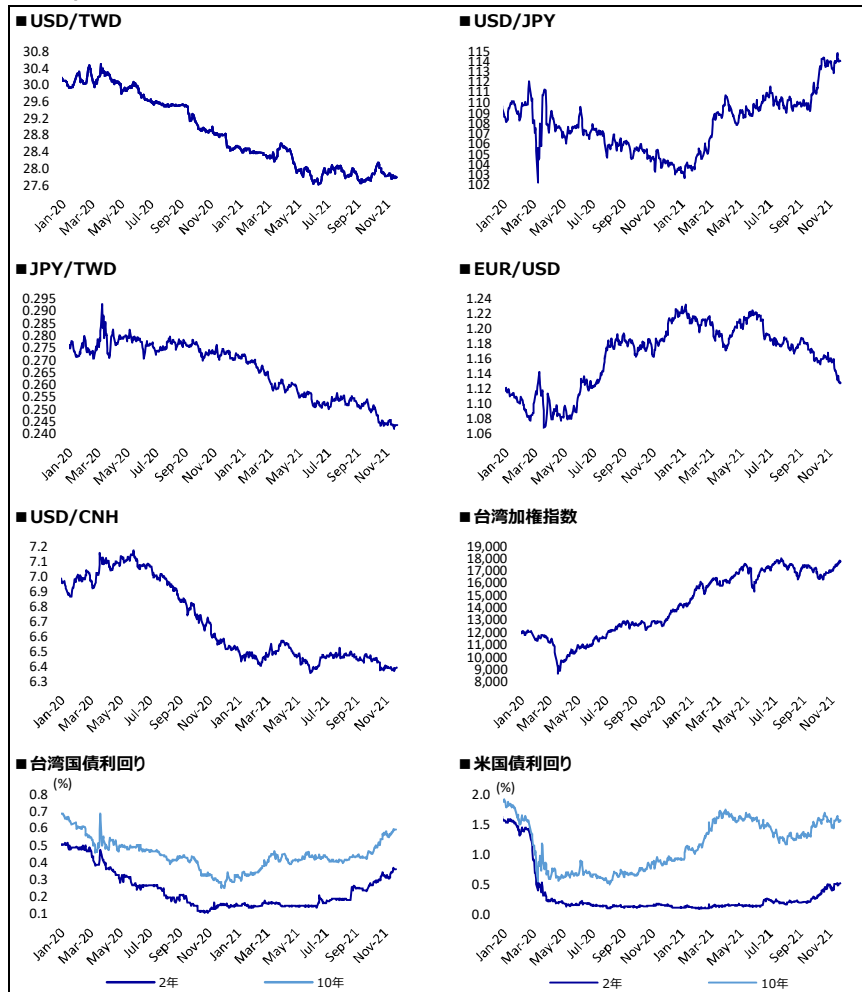


市場動向



先週の市場動向

■ USD/TWD
先週のドル/台湾ドルは下落。週初11/15は27.820でオープン後、株が上昇する中、27.80を割り込むと輸出企業からもドル売りが入ったが、この水準では輸入企業のドル買いもあり、27.78付近で推移。11/16は米中首脳会談が行われるも影響は限定的で、狭いレンジで推移。11/17は前日の米小売売上高が予想を上回り、ドル高の流れから27.840まで上昇するも、海外投資家、輸出企業の台湾ドル買いから27.80付近まで反落。11/18は前日のドル高の流れが落ち着いたこともあり、一時27.754まで台湾ドルが買い進んだが、輸入企業のドル買いや基金の海外投資の資金が入り、じり高となり27.80付近で推移。11/19は売買が交錯し、レンジで推移。最終的には先週比0.1%ドル安台湾ドル高の27.795で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式買い越し額は307.8億台湾ドル。

■ USD/JPY
先週のドル/円は上昇。週初11/15は113.80でオープン後、113円台後半で推移していたが、米11月NY連銀製造業景気指数が予想を上回ったことから買い戻され、114円台前半まで上昇。11/16は米中首脳会談の影響は限定的であったが、米10月小売売上高が予想を上回ったことからドル買いで反応。また米10月鉱工業生産も予想を上回り、ブラッド・セントルイス連銀総裁からのタカ派の発言もあり、114円台後半まで上昇。11/17は前日の流れを引き継ぎ、一時114.97まで上昇したが115円の節目を前に売りも強く、ポジション調整の動きや米10月住宅着工件数が予想を下回り、米金利も低下したことから、114円を割り込んだ。11/18は米11月フィラデルフィア連銀景況指数が予想を上回ったことから114円台半ばまで上昇。その後、FED高官らのタカ派の発言があるものの、ユーロにショートカバーが入り、ドル円の上値は押さえられ114円台前半で推移。11/19はオーストリアがコロナ感染再拡大を受けロックダウンを表明し、欧州のコロナ感染再拡大を警戒し、リスク回避の円買いで一時113.59まで下落したが、FRB高官らからのタカ派発言が伝わることでドル全面高の展開となり、ドル円は114円台を回復。最終的に先週比0.1%ドル高円安の114.03で先週の取引を終了。

今週の見通し

■ USD/TWD 予想レンジ：27.700-27.850
今週は月末に近いことから、台湾ドル高を見込む。ただし、欧州のコロナ感染再拡大やFED高官からタカ派の発言が続いていることから、底値は堅いと思込む。

■ USD/JPY 予想レンジ：113.00-115.00
先週は好調な米国の小売売上高を受けて115円を試すも押し戻されている。今週は米GDP、FOMC議事要旨が発表が控えている。また、バイデン大統領が数日以内に次期FRB議長の指名すると発表しており、その動向も注目されており、週後半は感謝祭のため、市場参加者が少なくなるが、その前にボラティルな相場になることには警戒したい。

今週の予定

11/22 (MON)	台湾10月失業率、台湾10月輸出受注
11/23 (TUE)	台湾10月鉱工業生産
11/24 (WED)	米10月耐久財受注、米Q3GDP改定値、米10月個人所得、FOMC議事要旨
11/25 (THU)	米国休場
11/26 (FRI)	台湾Q3GDP改定値

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。